

林木育種事業

1. はじめに

林木育種事業は林木の遺伝的特性を利用して、従来の林木の成長量増大および材質の改良に加え、社会問題化している花粉症対策に有効な林木品種の開発などにより林木の形質改良を進めることを目的としており、あわせて林業生産性の向上および森林の持つ公益的機能の発揮をはじめとした、社会・経済情勢の変化に伴い、時代の要請に応えた各調査を実施する。

2. 採種園の管理

スギ	精 英 樹	49クローン (ギルティッヒ配列)	1.80 ha
スギ	気象害抵抗性	46クローン (ギルティッヒ配列)	0.15 ha
ヒノキ	精 英 樹	22クローン (ギルティッヒ配列)	1.00 ha
少花粉スギ		9クローン	0.13 ha
無花粉スギ		1クローン	
マツ類	精 英 樹、その他		0.10 ha
スギ	精 英 樹 種子生産量	4系統	4.28 kg
ヒノキ	精 英 樹 種子生産量	2系統	0.61 kg

3. 採穂園の育成管理・整枝剪定

スギ	精 英 樹	1,928 本	1.1 ha
スギ	気象害抵抗性	688 本	0.4 ha

4. 人工交配による少花粉スギ種子生産(試行3年目)

前年度人工交配による種子生産量	9系統	311 g
着花促進処理 (2回6月中旬～7月中旬)		161 本
人工交配による結実促進処理 (3月上旬～下旬)		103 本

5. 次代検定林調査

50年次調査	西奈スギ精 英 樹 1 号 (吉野郡川上村武木)
40年次調査	西奈ヒノキ精 英 樹 19 号 (御所市関屋)